

農業を将来の仕事にしませんか？

三重県農業大学校
学校要覧

みえ若者就農 応援ガイド



三重県農業大学校卒業生のみなさん

農業へのチャレンジを 応援します！

三重県で新たに農業にチャレンジする新規就農者（45歳未満）は、毎年150人を超えています。

農業のスタイルは、「独立して農業を始める」ことはもちろん、

「企業の経営を行う農業法人に就職する」、「加工販売や交流ビジネスを行う」など多種多様！

ご自分のライフスタイルにあわせて、自分らしい農業にチャレンジしませんか？

農業へのチャレンジを 応援する主な制度

三重県農業大学校 詳細はP3~

農業技術や経営能力の習得を支援するため、三重県が設置している専門の研修機関です。高等学校卒業生以上を対象とする養成科二年課程と、主に農業で独立起業をめざす方を対象とする一年課程があります。

相談窓口：三重県 農業大学校 0598-42-1260



青年等就農計画制度

これから農業を始めようとする方が、将来の農業経営の構想や経営規模の目標などを記載して作成する就農計画のことです。この計画の認定を受けた新規就農者（認定新規就農者）に対して、重点的な支援を行います。

主な支援 ・農業次世代人材投資資金（経営開始型）の交付
・無利子の融資（青年等就農資金）の活用

相談窓口：三重県 担い手支援課 059-224-2354

農業次世代人材投資資金制度

年間最大150万円を就農前（2年間）、就農後（5年間）交付します。

準備型（最長2年間） 次世代を担う農業者となることを志向する方に対し、就農前の研修を支援する資金を交付します。

※ 三重県農業大学校は、準備型の交付対象機関です。交付を受けられた方は、研修終了後、独立・自営就農又は雇用就農又は親元就農を交付期間の1.5倍（最低2年間）継続する必要があります。

主な交付要件

- 就農予定時の年齢が、原則50歳未満である
- 県が認めた研修機関（三重県農業大学校等）で概ね1年以上（1年につき概ね1200時間以上）研修する
- 生活保護など、生活費を支給する国の他の事業と重複で交付を受けていない
- 原則、前年の世帯（親子及び配偶者の範囲）所得が600万円以下である

経営開始型（最長5年間） 独立・自営就農する認定新規就農者に資金を交付します。

主な交付要件

- 独立・自営就農時の年齢が、原則50歳未満である
- 主体的に農業経営を行っている
- 経営を開始して5年後までに農業で生計が成り立つ計画である
- 経営を継承する場合、新規参加者と同等の経営リスク（新規作目の導入など）を負うと市町村長に認められること
- 生活保護など、生活費を支給する国の他の事業と重複で交付を受けていない
- 原則、前年の世帯（親子及び配偶者の範囲）所得が600万円以下である

相談窓口：三重県 担い手支援課 059-224-2354

三重県農業大学校 学校要覧



設立目的及び沿革

三重県農業大学校は、農業に関する高度な技術及び経営について実践的な教育により、優れた農業経営者等の養成（養成科）と、農業者等の技術及び経営能力の向上に資するため、生涯学習の観点に立った体系的な研修を行う（研修科）ことを目的に設置されている県立の学校です。

沿革

昭和 11 年 3 月	三重県農林勸修場として飯南郡粥見町に設置
昭和 25 年 4 月	三重県農業経営伝習農場と改称し、一志郡豊地村に移転
昭和 36 年 4 月	三重県農業経営研修所と改称し、鈴鹿市石薬師町に移転
昭和 45 年 4 月	三重県農業経営大学校と改称し、現在地に移転
昭和 53 年 4 月	三重県農業経営大学校が 2 年制となる
昭和 61 年 4 月	三重県農業大学校を設置し、短大 2 卒に準じた資格が付与
平成 12 年 4 月	条例・規則改正により一年課程及び水田作コースが新設
平成 18 年 4 月	専修学校に移行

学科構成と定員

養成科二年課程

定員 30 名

- 茶業コース
- 水田作コース
- 野菜コース
- 花きコース
- 果樹コース
- 畜産コース

養成科一年課程

定員 10 名

- 茶業コース
- 水田作コース
- 野菜コース
- 花きコース
- 果樹コース
- 畜産コース

特徴

農業大学校は学校教育法に基づく農業専門課程の専修学校です。
 養成科二年課程を卒業した者には「専門士」の称号が付与されます。
 養成科二年課程を卒業した者は四年制大学への編入学の受験資格が得られます。
 三重県農業次世代人材投資資金の交付対象研修機関です。
 養成科二年課程は独立行政法人日本学生支援機構の奨学金貸与・給付の対象校です。

カリキュラム

養成科二年課程

		履修科目
教養科目 (全コース共通)		【必須科目】 文学(文章表現)、くらしと法律、くらしと経済、統計学、情報処理、英語(実用英会話)、現代社会と文化、農業基礎、体育
専門科目 (全コース共通)		【必須科目】 農業経営、農業簿記、農業政策、農業生産工程管理、農産物マーケティング、作物概論、園芸概論、畜産概論、植物生理、植物育種、環境保全と農業、作物保護、土壌肥料、農業情勢、農業気象学、農業機械論、海外等農業先進地研修、スマート農業概論 【選択科目A(4科目を選択)】 食品科学、有機農業、農業と福祉、生物工学、農産加工、土壌診断、コンピューター演習、フラワーデザイン、農業機械整備 【選択科目B(2科目を選択)】 大型特殊免許、大型特殊免許(けん引)、フォークリフト運転技能、毒物・劇物、危険物、簿記会計、ガス溶接、営農指導員、玉掛け技能、GAP指導員
専攻科目	茶業コース	茶栽培各論Ⅰ、茶栽培各論Ⅱ、茶利用加工各論Ⅰ、茶利用加工各論Ⅱ
	水田作コース	稲作技術、麦作技術、大豆作技術、多様な水田作物、水田農業の低コスト技術、農産物流通論、農村社会論
	野菜コース	果菜類Ⅰ、果菜類Ⅱ、葉茎菜類、根菜・いも類
	花きコース	切花、鉢花、花木・造園、観葉植物、花壇苗、洋らん
	果樹コース	果樹総論、果樹各論Ⅰ、果樹各論Ⅱ、果樹経営
	畜産コース	家畜生理、家畜衛生、飼養管理、家畜繁殖、飼料学、家畜栄養、家畜育種
	全コース共通	専攻実習、産地実習、農家実習、専攻実験、課題解決演習、卒業論文
特別活動		学校行事、学生自治会、就農・就職支援活動

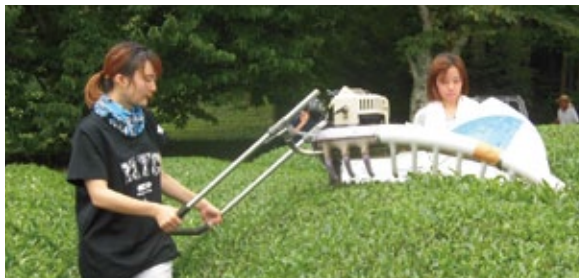
養成科一年課程

		履修科目
専門科目 (全コース共通)		【必須科目】 農業経営、農業簿記、農業生産工程管理、農産物マーケティング、環境保全と農業、作物保護、土壌肥料 【選択科目(6科目を選択)】 食品科学、有機農業、農業と福祉、農産加工、土壌診断、コンピューター演習、フラワーデザイン、農業機械整備、大型特殊免許、大型特殊免許(けん引)、フォークリフト運転技能、毒物・劇物、危険物、簿記会計、ガス溶接、玉掛け技能、GAP指導員、農業政策、農業情勢、農業経営力養成講座Ⅰ、農業経営力養成講座Ⅱ、農業経営力養成講座Ⅲ、スマート農業概論
専攻科目	茶業コース	茶栽培各論Ⅰ、茶栽培各論Ⅱ、茶利用加工各論Ⅰ、茶利用加工各論Ⅱ
	水田作コース	稲作技術、麦作技術、大豆作技術、多様な水田作物、水田農業の低コスト技術、農産物流通論、農村社会論
	野菜コース	果菜類Ⅰ、果菜類Ⅱ、葉茎菜類、根菜・いも類
	花きコース	切花、鉢花、花木・造園、観葉植物、花壇苗、洋らん
	果樹コース	果樹総論、果樹各論Ⅰ、果樹各論Ⅱ、果樹経営
	畜産コース	家畜生理、家畜衛生、飼養管理、家畜繁殖、飼料学、家畜栄養、家畜育種
	全コース共通	専攻実習、産地実習、農家実習、専攻実験、課題解決演習
特別活動		学校行事、学生自治会、就農・就職支援活動

日課表

時間	課業	適用
8:45 ~ 8:50	ホームルーム	毎週月曜日(※月曜日が祝祭日の場合は翌日に開催)
8:50 ~ 10:20	1限	
10:20 ~ 10:30	休憩	
10:30 ~ 12:00	2限	
12:00 ~ 13:00	休憩	毎週水曜日は12:15から農産物販売
13:00 ~ 14:30	3限	
14:30 ~ 14:40	休憩	
14:40 ~ 16:10	4限	

各専攻コースの概要



茶業コース

コミュニケーションを大切に、また、実験もふんだんに取り入れて実習や講義を進めます。茶種は緑茶（普通せん茶、かぶせ茶など）から紅茶、烏龍茶まで幅広く対応します。



水田作コース

水稻、小麦、大豆、露地野菜等の栽培を中心に実践的な技術を習得します。また、省力化、近代化に対応した高度な技術・知識の習得による経営能力の向上を目指します。



野菜コース

トマト、キュウリ、イチゴ、露地野菜等の栽培を中心に実践的な技術を習得します。また、省力化、近代化に対応した高度な技術・知識の習得による経営能力の向上を目指します。



花きコース

切り花、鉢花、花木等の栽培を中心に実践的な技術を習得します。また、省力化、近代化に対応した高度な技術・知識の習得による経営能力の向上を目指します。



果樹コース

ナシ、ブドウ、ミカン、カキ等の栽培を中心に実践的な技術を習得します。また、省力化、近代化に対応した高度な技術・知識の習得による経営能力の向上を目指します。



畜産コース

酪農、肉牛、養豚、養鶏の中から専門畜種を選択し、実習、講義とも各専門スタッフがマン・ツー・マンで指導します。また、飼養管理や飼料生産の機械操作技術を習得できます。

在学中に受験（受講）できる資格等

大型特殊免許（農耕車限定）、けん引免許（農耕車限定）、乙種4類危険物取扱者試験、農業用品目毒物劇物取扱者、フォークリフト運転技能、ガス溶接技能講習、営農指導職員資格、日商簿記検定試験、玉掛け技能講習、GAP指導員

卒業後の主な進路

	会社等名（あいうえお順）
農業法人	(株)アグリサポートだいち、(有)アグリベース辻、(株)イシイナーセリー、(有)伊藤牧場、うれし野アグリ(株)、うれしの農園(株)、(株)エイエムシー、(有)亀井園芸、(株)金山パイロット、(株)グレイン鈴木、(株)地主協和商会、(株)新生わたらい茶、(有)玉城アクトファーム、(有)玉城ふれあい農園、(有)土夢ファーム、(有)トラストファーム、(有)萩村製茶、(有)松幸農産、(株)三重コンバイン、(株)三重ヒヨコ、(株)前川農産、(有)山本農産、(株)ヤマヨ組、他
研修進学	セントラルトリミングアカデミー、日本農業経営大学校、三重大学（3年編入）、三重農大（一年課程）、八ヶ岳中央農業実践大学校、個人・法人農家等
農業団体等	伊賀ふるさと農協、伊勢農協、一志東部農協、大内山酪農組合、水沢野田共同製茶組合、多気郡農協、津安芸農協、三重中央農協、三重県酪農業協同組合連合会、三重大学農場
農業関連会社	クラギ(株)、クボタアグリ西日本(株)、県印三重中央青果(株)、コメリ(株)、西武アレフ(株)、田中種苗(株)、東海物産(株)、松阪興産(株)、三重オセキ(株)、(株)三重農協食品、三菱農機(株)、ヤンマー農機(株)、ユナイト三重(株)、marya（花販売、庭園リフォーム等）、他

在学中に必要な主な経費

二年課程は、2年間分

項目	二年課程	一年課程	積算
授業料	237,600	118,800	年額118,800円
実習服等一式	25,000	25,000	入校時購入
実習用具等	20,000	10,000	果樹剪定鋏・ケース5,700円、野菜玉葱鋏950円、花芽切り鋏1,000円、畜産安全靴3,700円等
必須講義教科書（共通）	24,000	12,000	作物、野菜、果樹、花き、畜産概論10,000円、農業簿記2,060円、農業機械論2,000円、土壤肥料1,700円、環境保全6,200円等
選択講義教科書（専攻・選択）	28,000	25,000	危険物1,100円、野菜専攻15,840円、茶専攻3,500円、簿記会計2,000円、刈払機2,700円等
証明写真	3,000	3,000	
傷害保険	18,000	9,000	年額9,000円
健康診断料	14,000	7,000	年額7,000円
各種免許資格取得	38,000	30,000	大型特殊、けん引、玉かけ、ガス溶接、フォークリフト等
海外等研修	280,000	—	
学生自治会費	72,000	36,000	年額36,000円
緑友会（保護者会）	24,000	—	年額12,000円
学生寮費	120,000	60,000	月額5,000円
施設維持費	120,000	60,000	月額5,000円
スポーツ大会参加費	26,000	—	年額13,000円
小計	1,049,600	395,800	
授業料を除く金額	812,000	277,000	

日本の食文化に欠かせないものをつくらせていることがやがて！

松田 晃尚さん／茶(大台町)

21歳(就農2年目)／養成科二年課程 茶業コース H30卒業



親の背中を見て「就農」を決意

農業大学校に入った理由は、中学校の頃から親の仕事を手伝っていて、季節ごとの作業の中で、「日本の食文化に欠かせないお茶」を育てることの大切さを知り、将来は継ぎたいと思ったからです。日々の実習では専攻の先生の指導のもと、主に畑での作業内容や農業機械の取り扱いを覚えることができ、専攻学習では、年間の施肥や防除などの作業スケジュールについて学びました。

お茶の本当のおいしさを伝えたい

茶業の作業の多くは機械で行うため、農業大学校を卒業するまでに、トラクターやフォークリフトの運転免許、GAP指導員の資格を取れたことは自信につながりました。今は見習いという形で、親の仕事を見ながら「茶業のいろは」を覚えている最中です。急須でお茶を入れる文化が失われつつある中で、現在の需要も把握したうえで、「お茶の本当のおいしさ」を伝えていけるように努力していきたいです！



農業大学校卒業生の声

MESSAGE OF

農業は「どんな時代も必要とされる仕事」 すべて自分で決められることが楽しい！

金峰 巡児さん／伊勢いも・白ねぎ(多気町)

31歳(就農1年目)／養成科一年課程 野菜コース H30卒業

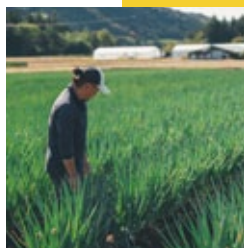


家族と地元への想いが転職のきっかけ

20代後半まで税理士法人に勤務していましたが、「結婚して子どもが生まれたので、地元で子育てをしたい」「自分が育った地元で恩返しをしたい」という想いが強く、「どんな時代でも必要とされる仕事」として農業を選びました。新規就農に向けて相談に乗っていただいた普及指導員さんのアドバイスで、自分で設定した2年間の研修期間のうちの1年間を農業大学校で学ぶ決意をしました。

頑張った分だけ良い成果を得られることが魅力

農業大学校では、専攻していた「野菜」以外の水田・果樹・花き・茶・畜産などの基礎概論も学びました。農業に対する知識が深まり、視野が広がったことは、新規就農をするうえでの大きな財産になっています。現在は、多気町の伝統野菜「伊勢いも」と「白ねぎ」を生産しています。この仕事はすべてを自分で判断し、自分が頑張った分だけ良い成果を得られるので、その点に魅力を感じています！





農業のおもしろさを感じながら充実した毎日 自分のつくったイチゴのブランド化が目標

佐波 慶さん／いちご(松阪市)

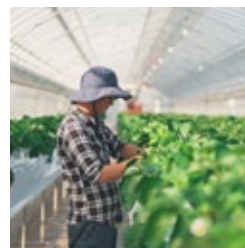
38歳(就農4年目)／養成科一年課程 野菜コース H28卒業

30代半ばでサラリーマンから転職

農業を始める前は、大阪でサラリーマンとして働いていましたが、自然を相手にして、裁量・時間の自由度が大きい「農業」に魅力を感じ、転職することを決めました。農業大学校では、基本的な知識や技術はもちろん、就農に向けての情報をすることもできました。また、週一回の販売実習では消費者の求めるものを把握することができ、自分にとっては大きなメリットでした。

多様化してビジネスチャンスが広がる業界

卒業後、イチゴ農家として経営を行っていますが、農業栽培技術向上のおもしろさと農業経営を安定して続けていくことの難しさを感じています。目標は、自分の作ったイチゴをブランド化することです。農業は、生産・流通・販売、そして加工、観光など自由度が高く、多様化してきており、これからはさまざまな面でビジネスチャンスが広がっていくと考えています。一緒に日本の農業を盛り上げていきましょう！



GRADUATES



義父の転身がきっかけで新規就農を決心！ 新しい技術を取り入れて早期収穫を実現

寺嶋 竜二さん／ぶどう(伊賀市)

35歳(就農2年目)／養成科一年課程 果樹コース H29卒業

想像以上に農業が科学的だったことにびっくり

私は大阪生まれで、30代前半までは塾講師の仕事に就いていました。結婚後に、妻の父が農業大学校を卒業し、伊賀市でイチゴの栽培を始めたことがきっかけで、自分も農業に興味を持ち始めました。妻の父が新しいやりがいを持って仕事をする姿を見て、私も真剣に農業への転職を考えました。農業大学校に入学してから驚いたのは、農業が想像以上に科学的な根拠やデータに基づいて進められるものだったことです。

新規就農にあたって交付された補助金を活用

現在は、シャインマスカットやピオーネを中心に、ぶどうの栽培を行っています。普及指導員さんの提案で、早期多収と結実安定を同時に実現できる「根域制限栽培」を取り入れたことで、2年目で収穫することができました。まだ販売ルートは確立できていませんが、ネット販売では好評を得ています。農業大学校を卒業したことも「農業次世代人材投資資金」の交付につながり、スムーズに就農することができました！



※農作物の写真はすべてイメージです。

夢実現のサポートをしてくれた農業大学校に感謝 体力がなくても「やる気」があればできる仕事！

世古口 知康さん／㈱ヤマヨ組(明和町)
25歳(就職6年目)／養成科二年課程 水田作コース H26卒業

就農につながった「子どもの頃の経験」

私は非農家に生まれましたが、自宅の周りにはいくつもの田畑があり、幼い頃から水稲や畑での野菜作りに関する作業を目にし、実際にコンバインに乗り、収穫体験もさせてもらったこともありました。そんな日々を過ごす中で、高校卒業後の進路を考えた時に自然と「農業をしたい！」と思うようになりました。農業については全くの無知だったので、すぐに農業法人に就職するのは難しいと思い、農業大学校に進学しました。

仕事の幅が広がったことでやりがいUP！

農業法人に就職でき、夢だった「農業」に携わる日々
に充実感を感じています。暑さや寒さなどの過酷な環境
での作業は大変な時もあります。しかし、年々仕事
の幅も増え、現在は白菜の畑の管理を任せてもらっ
ているので、とてもやりがいがあります。「体力がないと
できない仕事」というイメージがありますが、機械で行
う作業が多く、日々の仕事がトレーニングになるので、
やる気さえあれば十分にこなしていけると思います。



農業大学校卒業生の声

MESSAGE OF GRADUATES

一念発起で大阪からIターン 不安だった収入や待遇面も満足

梶原 陸さん／うれしの農園(松阪市)
22歳(就職2年目)／養成科二年課程 花きコース H31卒業

ふとした思いつきで農業大学校へ

私は大阪出身で、農業大学校に入るまでは、三重県にも農業にも縁のない環境で過
していました。進路を決める際に、「農業ってのんびりしていて、自分に合うかも」と思
い、インターネットで調べたところ、三重県の農業大学校を見つけたのです。毎日の実
習を通じて、花き栽培の基本を身につけることができ、学校生活の中で「農業の仕事
に就きたい」という想いが強くなったので、農業法人への就職を決めました。

「責任のある業務」の中で毎日勉強！

現在はベビーリーフの栽培に関わる仕事をしています。
まだ2年目ですが、入社前の想像以上に「責任のある業
務」を担当させていただいているので、「毎日が勉強！」
という気持ちで毎日仕事に励んでいます。自分の作った
野菜がスーパーに並んでいるのを見ると、とてもうれし
い気持ちになります。就職する際に不安だった収入や
待遇の面でも満足しているので、もっと知識や技術を身
につけて、会社に貢献していきたいと思っています！





最先端の技術にふれられることも魅力！

小山 翔太さん／株式会社東海近畿クボタ 松阪営業所長(松阪市)
34歳(就職14年目)／養成科二年課程 水田作コース H18卒業

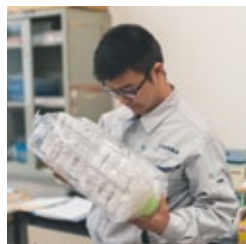
高校を卒業するまで特別な夢はありませんでした。元々、実家が農家で、「将来もなくなる職業」という認識があったので、農業大学校に進学しました。在学中の実習では、農業機械を動かすことが楽しく、「作物を作るより、農業機械に関わる仕事がしたい」と思い、今の会社を選びました。現在、営業所長として4年目で、農業機械の販売を通して、地元の農家さんをサポートしています。機械の修理・整備を行うことも業務の一つで、常に最先端のロボット技術やICT(情報通信技術)にふれられることにも楽しさを感じています。



畜産業は「生命の温もり」を感じられる仕事！

山岡 篤史さん／三重県酪農業協同組合連合会 業務課(松阪市)
23歳(就職4年目)／養成科二年課程 畜産コース H28卒業

農業高校在学中に担任の先生から「より知識を得るために、農業大学校に進学したほうがよい」とアドバイスをいただき、農業大学校への進学を決めました。現在の主な業務は「牛群検定」です。酪農家の方が飼養する雌牛の能力検定のことで、1頭1頭から生産される乳量を計測し、乳サンプルを採取するほか、分娩や授精情報を記録し、情報を検定農業の方に提供しています。畜産業の素晴らしさは、「生命の温もり」を感じられることだと思います。今後の農業は若い世代の力が必要なので、一緒に頑張っていきましょう！



地域の皆さんの役に立てることがうれしい！

島田 和季さん／三重中央農協 農作業支援センター(津市)
22歳(就職1年目)／養成科二年課程 野菜コース H31卒業

祖母の趣味が家庭菜園で、子どもの頃から楽しそうな様子を見ていたので、自然と農業に興味を持つようになりました。現在の職場では、肥料や道具など、農業に関するあらゆる商品の受注管理や販売を行っています。地元の方々と接する機会が多く、相談を受けた時に、農業大学校で学んだ知識が生かされたことも数多くあります。その時に、「ありがとう」という言葉をいただけた時は、とてもうれしいです。日々の業務の中で、農業の知識や経験を積み重ねて、地域の皆さんに頼られる存在になれるように頑張っていきたいです！



Campus Life

農業の担い手としてのスキルアップに加えて、充実したキャンパスライフを過ごすため、様々な地域交流やイベントを行っています。



1.大型特殊(けん引)練習 2.東海近畿スポーツ大会 3.刈払機講習 4.農産加工
5.幼稚園の体験学習 6.海外等農業先進地研修(ベトナム) 7.農大祭(ふれあい動物園)

三重県農業大学校

〒515-2316 三重県松阪市嬉野川北町530
TEL: 0598-42-1260 FAX: 0598-42-5835
E-mail nodai@pref.mie.lg.jp
<http://www.pref.mie.lg.jp/nodai/hp/>



三重県農林水産部担い手支援課

〒514-8570 三重県津市広明町13
TEL: 059-224-2354
E-mail ninaite@pref.mie.lg.jp

